

# 三権分立とトランプ大統領

行政府の長である米国のトランプ大統領は就任早々、大統領令を多発しています。イスラム圏7ヶ国からの入国制限に対し、これは憲法違反であるとの訴えがあり、司法がこれを認め、大統領令は凍結されました。

トランプ大統領は行政府の長ではありますが、すべて自分の思うように事が運ぶようにはできていません。民主主義国では「三権分立」の制度があり権力の乱用を防ぐ仕組みがあります。トランプ大統領の出現により、民主主義国の「三権分立」の意味が世界で再確認された昨今です。

共産党の支配する独裁政権・中共の憲法には「三権分立」がうたわれています。しかし権力の乱用を防ぎ、国民の権利と自由を保障する「三権分立」の原則が機能していません。

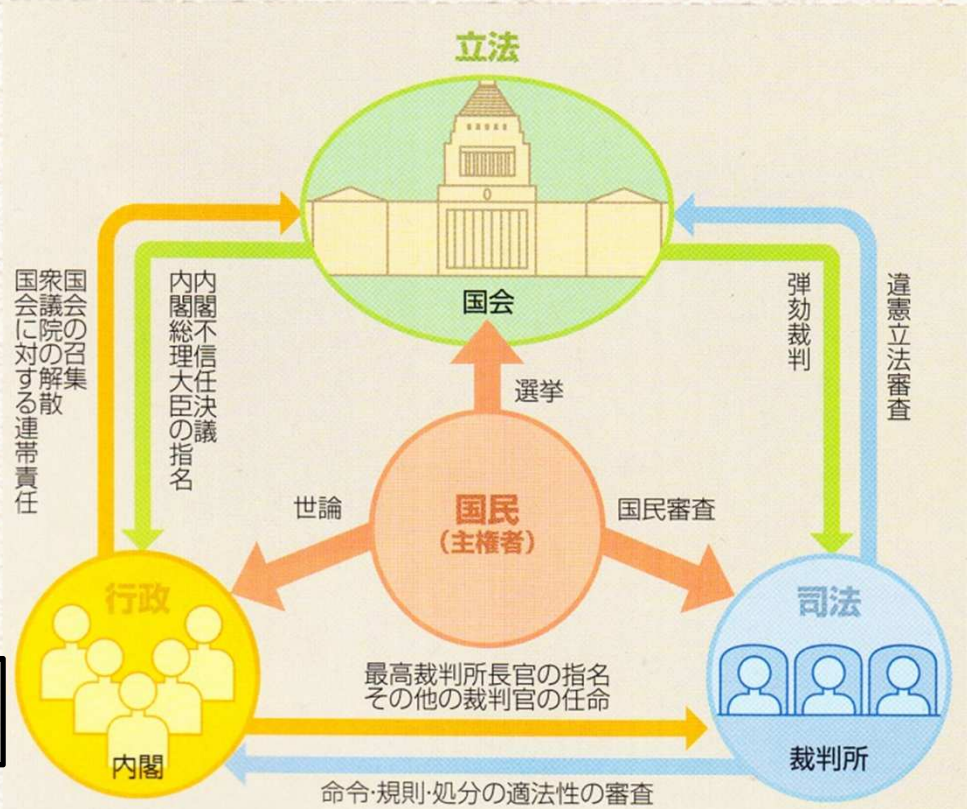
共産党の最高責任者の意思が国家の意思になっています。

権力を監視する憲法が機能せず、国民の利益ではなく、共産党の利益が最優先されているのが中共です。立法、司法はほとんど機能していません。

日本国憲法は、昭和21年(1946年)11月3日に公布、翌22年5月3日に施行され、5月20日に第1回国会が召集されました。ここに、大日本帝国憲法下で明治23年(1890年)に開設され、56年余続いた旧帝国議会に代わって新しい国会が誕生しました。

## 三権分立

日本国憲法は、国会、内閣、裁判所の三つの独立した機関が相互に抑制し合い、バランスを保つことにより、権力の濫用を防ぎ、国民の権利と自由を保障する「三権分立」の原則を定めています。



権力者

日本は行政府の長は総理大臣  
米国の場合は大統領